

平成22年5月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年3月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 くるがねや

コード番号 9855 URL <http://www.kuroganeya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀込 丹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役(管理担当)

(氏名) 川崎 謹五

TEL 055-241-2472

四半期報告書提出予定日 平成22年3月30日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第3四半期の業績(平成21年5月16日～平成22年2月15日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	12,863	0.3	221	14.2	218	2.4	105	1.3
21年5月期第3四半期	12,827		193		213		106	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年5月期第3四半期	9.88	
21年5月期第3四半期	9.97	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年5月期第3四半期	15,747	8,290	52.6	777.00
21年5月期	16,451	8,295	50.4	777.42

(参考) 自己資本 22年5月期第3四半期 8,290百万円 21年5月期 8,295百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年5月期		7.00		5.00	12.00
22年5月期		6.00			
22年5月期 (予想)				6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の業績予想(平成21年5月16日～平成22年5月15日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	17,263	0.9	424	59.7	423	50.2	225	43.9	21.13

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第3四半期	11,581,205株	21年5月期	11,581,205株
期末自己株式数	22年5月期第3四半期	911,845株	21年5月期	911,304株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年5月期第3四半期	10,669,687株	21年5月期第3四半期	10,714,879株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予測値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予測の前提となる条件等につきましては4ページ[定性的情報・財務諸表等]3. 業績予測に関する定性情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府によるエコカー及びエコポイント等の優遇措置を通じて、個人消費を下支えしているものの、デフレによる消費者の低価格志向は、一層鮮明となり、厳しい経営環境の状況が続いております。

このような状況の中、大型店(スーパーデポ店舗)を中心に建設資材、農業資材が順調に売上を伸ばしました。また、この冬季における厳しい寒気の影響により、暖房用品や燃料関連の売上高が大きく伸びました。しかしながら、消費者の買い控えによる傾向は強く、既存店に関しては、売上高が減少する結果となりました。

今後、平成21年11月24日に発表しました東宝株式会社の連結子会社である東宝共栄企業株式会社のホームセンター事業(世田谷区及び調布市)の譲受けにより、首都圏における事業の拡大を通じて、売上高増加を図ってまいります。

これらの結果、売上高は128億63百万円(前年同四半期比0.3%増)となり、営業利益は2億21百万円(前年同四半期比14.2%増)、経常利益は2億18百万円(前年同四半期比2.4%増)、四半期純利益は1億5百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

なお、当第3四半期累計期間には開店、閉店とも行いませんでしたので、当第3四半期累計期間末における店舗数は、従来と同様に山梨県13店舗、神奈川県6店舗及び東京都1店舗の合計20店舗であり、また、当第3四半期累計期間末の売場面積は、66,769㎡となっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は157億47百万円となり、前事業年度末と比較し7億3百万円減少いたしました。これは主に、商品及び有形固定資産の減少等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は10億46百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益1億99百万円、減価償却費3億83百万円、たな卸資産の減少額1億97百万円、仕入債務の増加額2億51百万円等の収入に対し、法人税等の支払額89百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は96百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入1億15百万円、投資有価証券の売却による収入30百万円等の収入に対し、有形固定資産の取得による支出2億20百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は10億25百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入50億50百万円の収入に対し、短期借入金の返済による支出55億50百万円、長期借入金の返済による支出3億90百万円、配当金の支払額1億13百万円等の支出があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月期の通期業績予想につきましては、平成21年12月15日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年2月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年5月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	587,803	662,631
売掛金	60,484	86,156
商品	3,534,696	3,732,091
貯蔵品	4,657	4,899
その他	197,679	307,150
貸倒引当金	74	151
流動資産合計	4,385,245	4,792,777
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,462,583	4,665,951
土地	3,881,240	3,878,560
その他(純額)	1,105,781	1,066,072
有形固定資産合計	9,449,604	9,610,583
無形固定資産	233,939	232,961
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,391,505	1,494,114
その他	307,161	340,646
貸倒引当金	20,200	19,989
投資その他の資産合計	1,678,466	1,814,771
固定資産合計	11,362,010	11,658,316
資産合計	15,747,256	16,451,094
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,108,413	2,856,615
短期借入金	2,020,008	2,570,008
未払法人税等	11,120	23,535
賞与引当金	55,927	-
役員賞与引当金	15,945	15,232
その他	502,567	563,427
流動負債合計	5,713,981	6,028,818
固定負債		
長期借入金	1,024,986	1,364,992
退職給付引当金	47,603	43,575
その他	670,575	718,707
固定負債合計	1,743,164	2,127,275
負債合計	7,457,146	8,156,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,411,649	2,411,649
資本剰余金	2,466,074	2,466,074
利益剰余金	3,734,168	3,746,065
自己株式	329,716	329,541
株主資本合計	8,282,176	8,294,248
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,933	752
評価・換算差額等合計	7,933	752
純資産合計	8,290,110	8,295,000
負債純資産合計	15,747,256	16,451,094

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年5月16日 至平成21年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成22年2月15日)
売上高	12,827,213	12,863,199
売上原価	9,335,441	9,392,993
売上総利益	3,491,771	3,470,206
販売費及び一般管理費	3,297,939	3,248,913
営業利益	193,831	221,293
営業外収益		
受取利息	1,199	978
受取配当金	1,617	1,726
投資有価証券売却益	11,400	941
受取事務手数料	25,999	26,403
その他	6,797	7,657
営業外収益合計	47,014	37,707
営業外費用		
支払利息	25,404	37,257
投資有価証券売却損	-	1,649
その他	1,709	1,168
営業外費用合計	27,114	40,075
経常利益	213,731	218,925
特別利益		
預り保証金解約益	110,332	-
特別利益合計	110,332	-
特別損失		
固定資産除却損	-	19,039
投資有価証券評価損	24,531	104
減損損失	80,201	-
特別損失合計	104,732	19,143
税引前四半期純利益	219,330	199,781
法人税、住民税及び事業税	127,411	79,777
法人税等調整額	14,936	14,534
法人税等合計	112,475	94,312
四半期純利益	106,855	105,469

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年5月16日 至平成21年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成22年2月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	219,330	199,781
減価償却費	313,584	383,272
減損損失	80,201	-
賞与引当金の増減額(は減少)	43,931	55,927
貸倒引当金の増減額(は減少)	931	134
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,584	4,028
役員賞与引当金の増減額(は減少)	5,220	713
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	96,257	-
預り保証金解約益	110,332	-
受取利息及び受取配当金	2,817	2,705
支払利息	25,404	37,257
投資有価証券売却損益(は益)	11,400	707
投資有価証券評価損益(は益)	24,531	104
固定資産除却損	-	19,039
売上債権の増減額(は増加)	51,878	25,672
たな卸資産の増減額(は増加)	182,461	197,637
その他の資産の増減額(は増加)	72,882	92,236
仕入債務の増減額(は減少)	565,744	251,798
未払消費税等の増減額(は減少)	-	93,209
その他	103,564	190,404
小計	847,558	1,168,410
利息及び配当金の受取額	2,817	2,705
利息の支払額	26,758	36,356
法人税等の支払額	243,160	89,227
法人税等の還付額	-	972
営業活動によるキャッシュ・フロー	580,456	1,046,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,493,929	220,652
有形固定資産の売却による収入	104,582	-
投資有価証券の取得による支出	16,252	440
投資有価証券の売却による収入	29,640	30,776
敷金及び保証金の差入による支出	7,781	12,811
敷金及び保証金の回収による収入	71,851	115,176
その他	17,391	8,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,329,281	96,008
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,750,000	5,050,000
短期借入金の返済による支出	2,400,000	5,550,000
長期借入れによる収入	900,000	-
長期借入金の返済による支出	545,000	390,006
リース債務の返済による支出	-	21,738
自己株式の増減額(は増加)	12,632	174
配当金の支払額	146,514	113,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	545,852	1,025,353
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	28
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	202,869	74,828
現金及び現金同等物の期首残高	547,199	662,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	344,330	587,803

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 売上高の状況

(1) 商品別売上高

(単位：千円 千円未満切捨て)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成22年2月15日)		前第3四半期累計期間 (自平成20年5月16日 至平成21年2月15日)		対前年 同期比	(参考) 平成21年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
		%		%	%		%
ダイニング用品	1,462,144	11.4	1,557,029	12.1	93.9	1,999,912	11.7
ホームファニッシング用品	816,269	6.3	917,432	7.2	89.0	1,205,632	7.0
デイリー用品	2,182,119	17.0	2,245,463	17.5	97.2	2,971,710	17.4
シーゾナル用品	1,380,850	10.7	1,204,895	9.4	114.6	1,474,045	8.6
園芸・ペット用品	2,808,183	21.8	2,833,337	22.1	99.1	3,981,003	23.3
カルチャー用品	613,763	4.8	667,478	5.2	92.0	885,442	5.2
その他用品	3,219,722	25.0	3,062,331	23.9	105.1	4,124,301	24.1
商品売上高計	12,483,052	97.0	12,487,967	97.4	100.0	16,642,048	97.3
不動産賃貸収入	380,147	3.0	339,245	2.6	112.1	465,058	2.7
売上高合計	12,863,199	100.0	12,827,213	100.0	100.3	17,107,107	100.0

(注) 1. 商品別の各構成内容は、次のとおりであります。

- | | |
|------------------|------------------------|
| (1) ダイニング用品 | (台所用品・調理小物) |
| (2) ホームファニッシング用品 | (家具・インテリア用品) |
| (3) デイリー用品 | (家庭用品・日用雑貨) |
| (4) シーズナル用品 | (季節品) |
| (5) 園芸・ペット用品 | (園芸用品・ペット用品等) |
| (6) カルチャー用品 | (文具用品・おもちゃ等) |
| (7) その他用品 | (日曜大工用品・はきもの・カー用品・その他) |

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地区別商品売上高

(単位：千円 千円未満切捨て)

地 区	当第3四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成22年2月15日)		前第3四半期累計期間 (自平成20年5月16日 至平成21年2月15日)		対前年 同期比	(参考) 平成21年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
		%		%	%		%
山梨県	6,696,768	53.7	6,693,616	53.6	100.0	8,963,072	53.9
神奈川県	4,121,832	33.0	4,234,461	33.9	97.3	5,573,037	33.5
東京都	1,664,452	13.3	1,559,890	12.5	106.7	2,105,938	12.6
商品売上高合計	12,483,052	100.0	12,487,967	100.0	100.0	16,642,048	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。